

50代～80代の ライフプランニング

ファイナンシャルプランニング_13
ー健康保険と医療保険③ー

2024.9.12

小川FP・行政書士事務所
あいちライフサイクルマナー
小川 佳宏

50代－80代~で特に重要ないくつかのことって何だろう？

- 1 今までのキャリアの棚卸をしていつまで就労するか考えていますか？
- 2 公的年金の受給方法と社会保険の壁を知っていますか？
- 3 今、入っている生命保険や医療保険を知っていますか？
- 4 住宅の購入、買い替えを検討していますか？
- 5 自分の資産運用について考えて実行していますか？
- 6 将来、できるだけ介護のお世話にならないように気を付けていますか？
- 7 相続の準備や遺言書は書いていますか？
- 8 さあ、家計や人生の棚卸をして人生100年時代を楽しく準備しましょう。

リタイアメント
ライフプランニング
(※)

※50代でリタイアメントするという意味ではなく、役職定年、定年、第二定年と就労関係のイベントがきますので、早めに意識、準備していく必要があるということです。

健康保険と医療保険③

日本の公的医療保険は結構、いい制度だね。特に高額療養費制度は大きな手術をしても3割負担よりずっと安くできるんだね、知ってる母さん？



高額療養費制度があることは少しは知っているわ。でも幸いにも大きな病気とか入院したことないのであまり気に留めていなかったわ。



そうはいつでも、我が家には医療保険入っていなかったかな。



民間の医療保険に入っている家庭は必ずしも公的医療保険の内容を理解して加入したとは限らないのではないのでしょうか。ただ何となく保険に入れば安心みたいな。



先生の言う通りで我が家は。今からでも保険料と保険内容を調べてみるわ。



それがいいですね。がん保険や3大疾病で高度先進医療とか明確な心配事に対するニーズがあれば加入するのはいいかもしれません。



健康保険と医療保険③

そうしてみます。がんにはなりたくはないですが、日本人が一生のうちにがんと診断される確率は2人に1人らしいですね。



そうです。そういうがんに罹患する心配ごとがあって、負担も心配なら加入する意味はあると思います。いちど、具体的な手術や入院事例から自己負担額を知っておくとよいでしょう。



そうですね。資料みたら何百万円の手術でも自己負担は何十万円になるのですね。民間の医療保険に入るのも微妙かもしれませんね。



自己負担が高いか安いかは人それぞれです。加入するにしろ払込保険料の累計額と自己負担額を比較してみるのもよいでしょう。



はい、わかりました。保険は高い買い物の割にはあまり加入する時に私も意識していませんね。保険に入っておけば何となく安心だろうという考えではいけませんね。



その通りだと思います。保険も家計の聖域でないと思います。

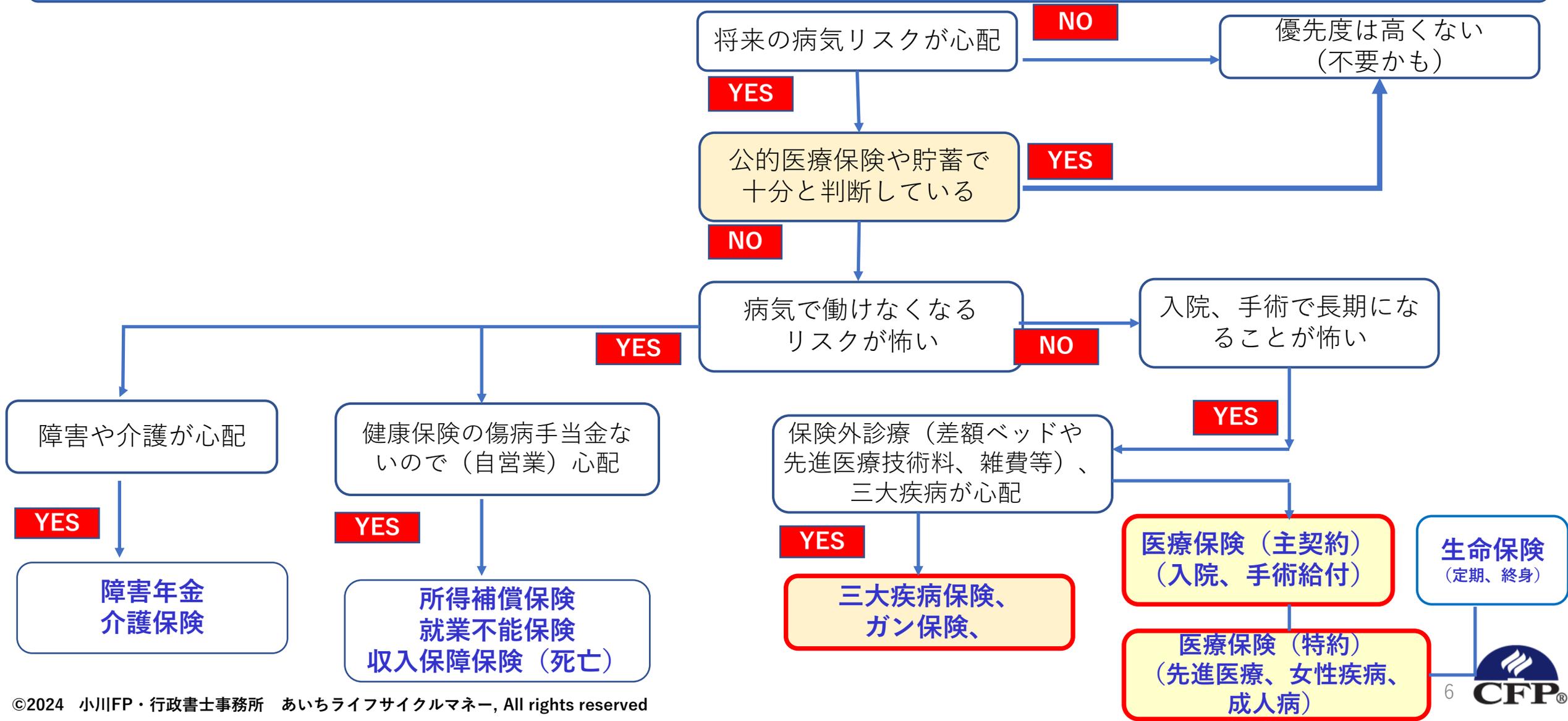


本日、是非、知っていただきたいこと

- ✓ 民間の医療保険に加入する場合は、公的医療保険でカバーできない自分の心配ごとをきっちりと理解した上で加入することが賢明です。
- ✓ いろいろな手術の公的医療保険の自己負担額（高額療養制度後）を知り、心配ごとをカバーできる民間医療保険に入ることもよいでしょう。
- ✓ そのためには民間の医療保険の保険内容、保険期間、保険料払込総額を正しく理解しましょう。その上で加入の判断をするとよいです。

医療保険 ～病気、けがや介護に対するリスク～

将来、公的医療保険や介護保険で賄えない場合、民間保険の加入を検討します。



医療保険事例①

～手術による自己負担金額計算～2022年版～

医療費総額に対して自己負担がいくらになるかの資料です。多いと感じれば医療保険に加入し、思ったより少ないと感じれば医療保険に加入せず保険料を貯蓄しておく方法もあります。

事例	医療費総額	自己負担 高額療養費支給後	自己負担額 (差額ベッド)	自己負担額 (雑費、食事)	自己負担計
胃がん15日入院手術、月またぎ (40歳男性、月収27~51.5万未満)	220万円	18万円	4万円	9万円	31万円
乳がん10日入院手術(上段)、通院(下段) (43歳女性、月収27~51.5万円未満)	123万円 93万円	16万円 26万円	5万円	5万円 5万円	26万円 31万円
脳梗塞51日入院、ICUリハビリ 月またぎ (52歳男性、月収27~51.5万円未満)	366万円	26万円	15万円	19万円	60万円
急性心筋梗塞27日入院手術、 月またぎ(70歳女性、一般(2割))	328万円	15万円	11万円	11万円	37万円
虫垂炎7日入院手術 (30歳女性、27万円~51.5万円未満)	61万円	9万円	—	3万円	12万円
脚の骨折22日入院手術 (23歳男性、月収27~51.5万円)	181万円	12万円	—	8万円	20万円

出所：生命保険文化センター 「医療保障ガイド」 2022年10月改訂版から筆者作成(2022年月の診療報酬点数)

保険料の払込総額を払う価値があるかどうかを判断するため、契約内容、年齢、保険会社ごとに違うので個別に見積もりをとることが必要です。

日帰り入院型、1入院支払限度日数 60日、通算支払限度日数 1,095日

保険料：口座振替月払、無配当、保険料払込期間は解約返戻金なし、平成30年契約 30歳

保険事由	給付金名	支給金額
病気、ケガで入院	入院給付金	1万円/日
病気、ケガで手術（公的医療保険対象）	手術給付金	入院中：10万円 外来：5万円
病気、ケガで放射線治療	放射線治療給付金	10万円
病気、ケガで先進医療治療	先進医療給付金	技術料 (通算2000万円まで)

出所：生命保険文化センター 「医療保障ガイド」 2022年10月改訂版から筆者作成

終身保障、60歳払込満了タイプ、30歳契約

- ・ 男性 4100円*12月*30年 = **148万円**
- ・ 女性 4300円*12月*30年 = **155万円**

V.S.

**高額療養費制度を利用した場合の自己負担額
(一生涯)**

保険料の払込総額を払う価値があるかどうかを判断するため、契約内容、年齢、保険会社ごとに違うので個別に見積もりをとることが必要です。限定告知型だと保険料は高くなります。

終身保障、終身払込タイプ、30歳契約

性別	契約年齢				
	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳
男性	2700円 52年 165万円	3600円 42年 181万円	5200円 32年 200万円	7900円 23年 218万円	11400円 15年 205万円
女性	2800円 57年 191万円	3200円 48年 184万円	4300円 38年 196万円	6400円 29年 222万円	9700円 20年 233万円

上段：月払保険料、中段：平均余命、下段：平均余命までの保険料総額

出所：生命保険文化センター 「医療保障ガイド」 2022年10月改訂版から筆者作成

医療保険の特徴

医療保険のコストパフォーマンスを判断します。優先順位の高い個別の保険に加入するか、保険料を貯蓄して高額療養費の自己負担分は常に貯蓄から賄うように準備しておくこともよいでしょう。

◆医療保険とは、基本的には**”手術入院給付金”**です。病気の種類によっては入院が長期（⇒）します。オールマイティではありません。

◆**入院日数が短期化**し、通院・在宅治療の比率が高くなっています。（⇒）

◆**公的な保険で入院・手術費用の大部分を賄う**ことが可能です。

◆**医療保険は以下のリスクをカバーできません。**

- ・長期間働けず、収入を得られないリスク
⇒ **所得保障保険、就業不能保険**
会社員、公務員は傷病手当金(1年6月, 給与の2/3が支給される)
- ・ガンで在宅・通院での治療が長期化するリスク
⇒ **ガン保険**
- ・介護状態・認知症となるリスク
⇒ **介護保険**
- ・一家の大黒柱が亡くなったときのリスク
⇒ **定期保険、収入保障保険**

表2 傷病分類別にみた退院患者の平均在院日数

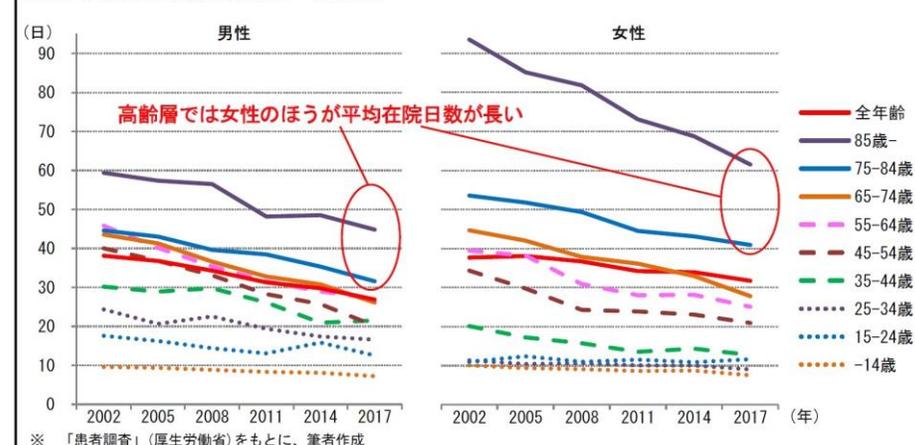
(単位:日)

傷病分類	総数	男性	女性	0~14歳	15~34歳	35~64歳	65歳以上
がん	17.1	16.9	17.3	21.6	15.9	13.0	18.6
胃がん	19.2	17.1	24.3	8.1	12.5	13.0	20.8
乳がん	11.5	12.5	11.5	5.5	7.1	8.4	15.7
心疾患 (高血圧性のものを除く)	19.3	13.5	28.3	11.8	10.0	9.0	22.2
脳血管疾患	78.2	67.3	90.7	12.3	25.6	45.6	86.7
糖尿病	33.3	26.7	42.5	10.9	13.2	16.3	45.4
結核	54.1	49.4	60.8	2.0	36.5	45.4	58.5

出所：保険市場HP

資料：厚生労働省「平成29年(2017)患者調査の概況」をもとに作成

図表3. 退院患者平均在院日数(男女・年齢層別)



Thinking time !

民間の医療保険に入る際は自分の心配事を正しくカバーする保険に入ります。

貴方の心配ごと

- ・民間の医療保険に加入することを検討する場合、どんな心配事がありますか。



民間の医療保険

- ・加入する場合、又は既に加入している場合、保険料、払込期間、カバーされる内容を知っていますか。
- ・公的医療保険でカバーされない治療に対して自己負担ができますか。

業務範囲 ～当事務所で取扱相談範囲について～

● 個人のお客様のご相談

◆ ライフプランニング

お金の将来を見えるようにします

◆ 贈与・相続支援

ご家族の誰にもご納得いただけるようなプランニングをします

◆ 任意後見・家族信託

移行型任意後見契約や家族信託の利用をご支援します

● 各種セミナー

◆ 世代別セミナー

◆ テーマ別セミナー

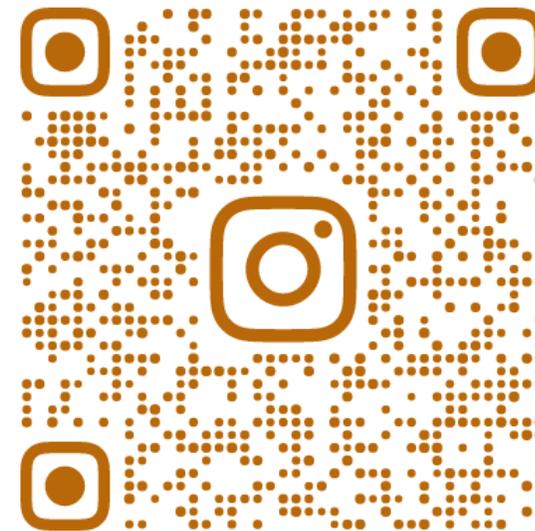
詳細はホームページとインスタをご覧ください

ホームページ



<https://www.fp-aichi-lcm.jp>

インスタグラム



@FP_YOSHISAN